

受験番号	UM
------	----

平成30年度 山梨大学医学部看護学科入学者選抜試験 問題用紙

小論文 I

【問】 次の文章を読み、「胃袋」とは何を指しているか説明したうえで、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

自分の胃袋を知る

「他人のために働く」「状況を背負い込む」というと、不安に思う人もいることでしょう。そんなことをしては、自分の人生ではなくなるのではないか。会社の犠牲、家庭の犠牲になってしまうのではないか。割を食うのではないか、報われないのではないか。たしかに、そういう危険性があります。

ここで重要なのは、自分がどこまで飲み込むことができるのかを知っておくことです。つまり、自分の「胃袋」の強さを知っておかなくてはなりません。

この程度までなら消化できるが、これ以上になると無理だ。その大きさを意識しておくのです。

食べられればとても体にいいものであっても、胃袋がそれに耐えられなければ、かえって体調を崩してしまいます。たとえ不老長寿になれるような食べ物でも、胃袋よりも大きければ、害になります。

仕事にしても、身の丈にまったく釣り合わないような大きなものにまで手をつけると、結局は失敗してしまいます。それだけではなく、そのことがトラウマになって、人生を長い間無駄にってしまうこともあるかもしれません。

特に若い人は、そのあたりの加減がわからないので失敗するかもしれません。だから、自分の「胃袋」の強さを知る必要があるのです。

では、それを知るためにはどうすればいいのか。やはり、絶えず挑戦をしていくしかないのです。あまりに安全策を採り続けては、「胃袋」の本当の強さもわからないし、より強くすることもできません。

運動選手が体を鍛える際のことをイメージすればわかりやすいでしょう。あまりに筋肉に負担をかけ過ぎては体が壊れてしまいますし、楽をしすぎては成長しません。

常に他人とかかわり、状況を背負うということをしているうちに、なんとなく自分の「胃袋」の強さが見えてくるのです。

(養老孟司、「自分」の壁、新潮社、2016年17刷より抜粋)

受験番号	UM
------	----

平成 30 年度山梨大学医学部看護学科入学者選抜試験 解答用紙

小論文 I

注) 横書き 600 字

A large rectangular grid for writing the essay, consisting of 30 columns and 25 rows of small squares.

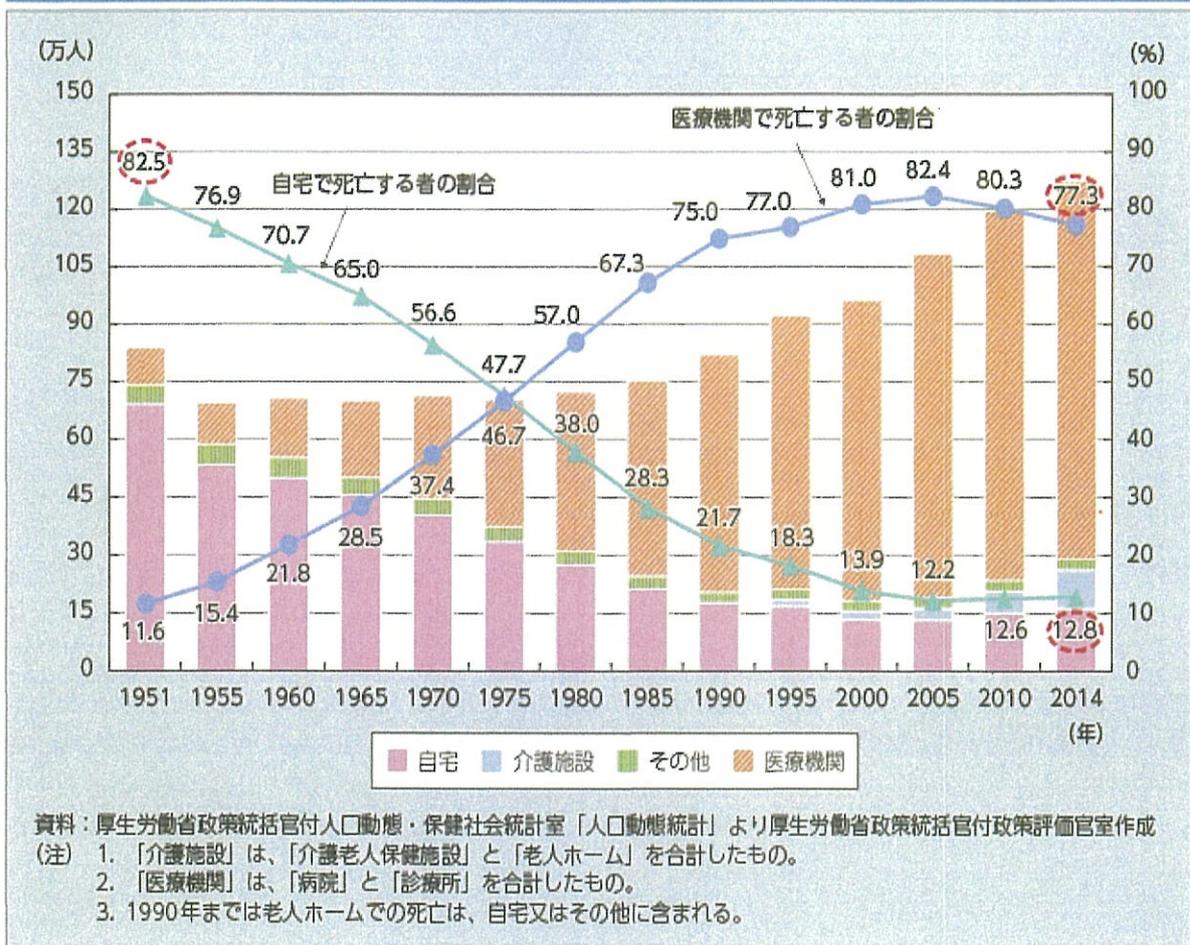
評 点	
-----	--

平成 30 年度 山梨大学医学部看護学科入学者選抜試験 問題用紙

小論文Ⅱ

【問】 次の図は死亡場所別に見た、死亡数・構成割合の推移です。読み取れる特徴を 400 字以内で述べなさい。

図表 1-1-12 死亡場所別に見た、死亡数・構成割合の推移



出典：平成 28 年度厚生労働白書—人口高齢化を乗り越える社会モデルを考える—より転載

